

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 8 月 20 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

今日は**背反値** (はいはんち) という考え方についてご説明します。

6923 スタンレーの週足チャートをご覧ください。

AとBの値幅はほぼ**同じ**。CとDの値幅もほぼ**同じ**です。これが**背反地**という考え方なのです、つまりAの**下げ幅**が今度はBで**上げ幅**となって出て来ている!!

以前ご説明した、たとえばN計算値(3月7日号のレポート参照)は、以前の**上げ相場**における**値幅**を現在の**上げ相場**に**当てはめた**わけです。先ほどの例は、以前の**下げ相場**における**値幅**を現在の**上げ相場**に**当てはめる**わけです。

しかし、これも**立派な計算値**なのです。下げ相場と上げ相場の違いはありますが、重要な**値幅**であることに変わりないという考え方です。こうした理論を**背反値**といいます。 次回に続きます。

(無料レフォンサービスですお気軽に) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552

〈スタンレー〉 週足



Alpha Chart 社

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。